

ワクワク!

第18号

しながわ情報紙

ホットな品川区の情報や話題をお届けします。

発行日:平成26年10月15日(水曜)

発行者:若林ひろき 品川区議会議員

ブログ <http://ameblo.jp/wakabayashi-hiroki/>

ツイッター https://twitter.com/wakabayashi_h



もくじ 1P

- ・ストーカーから女性を守る取り組み
- ・品川区選学生を募集
- ・私の本棚「ジャンヌ・ダルク」

2P

- ・高齢者インフルエンザ予防接種
- ・高齢者肺炎球菌予防接種
- ・品川区長選挙、区議補欠選挙の結果
- ・区議会第3回定例会を開催

大崎駅西口に自転車ナビ路線

大崎警察署管内では初の「自転車ナビ道路(路線)」が完成し、快晴の9月28日(月)、式典とテープ



カット・走り初めが行われました。区間は、大崎駅西口交差点～大崎陸橋まで。自転車安全五則を確認しておきましょう。(1)自転車は車道が原則、歩道は例外(2)車道では左側を通行(3)歩道では歩行者優先で、自転車は車道寄りを徐行(4)安全ルールを守る(5)子どもはヘルメットを着用

ストーカーから女性を守る取り組み

ストーカーの被害者が、警察に相談しているながら殺害される事件がなくなりません。9月にも、岩手県で23歳の女性が元交際相手に殺害される事件が発生しました。昨年の警察が認知したストーカー被害は初めて2万件を超えるました。

警察庁の有識者検討会が8月にまとめた具体策は次のようなものです。

- (1)これまでの「見張り」や「押しかけ」以外にも、「みだりにうろつく」行為も規制対象とする。
- (2)SNSでメッセージを大量に送りつける連続送信も禁止行為とする。
- (3)警察の「警告」なしでも、公安委員会、警察

が禁止命令を出せるようにする。

(4)罰則の強化

また、法務省は法テラスを活用し経済力がなくても法律相談援助を実施し、警察庁はホテルに緊急避難する被害者の宿泊費を全額公費で負担する制度を来年度から始めるこも決めました。



知っていますか?高校進学の奨学金 品川区奨学生を募集

区では、勉学意欲があるにも関わらず経済的な理由で修学が困難な方に奨学金の貸付を行っています。

●在学資金

【対象者】現在中学3年生で平成27年4月に高等学校等に入学を予定している人

【貸付額】15,000円/月(私立学校への進学のみ)

●入学準備金

【対象者】在学資金の貸付を受ける方の保護者

【貸付額】200,000円(私立学校)、70,000円(公立学校)

【募集期間】10月31日(金)まで

※申請の資格や返還方法など、

詳細は品川区ホームページをご確認ください。

【問合せ】青少年育成課 ☎ 5742-6385



ランスの戴冠式 シャルル七世の誕生
はジャンヌの勝利であったが、同時に滅
びゆく前兆でもあった。ジャンヌは貴族
に叙され、王家と同じ百合の紋章を許
された。大金も渡された。百姓の娘に富
と栄誉が与えられたのである。古い貴
族たちは冷たい目で見ていたことでしょう。「私は何もこわいとは思いません。
こわいのは裏切りなのです」

ジャンヌの最後の戦いは、仏の一方の
雄ブルゴーニュ派と戦ったコンピエニ
ユの戦い。捕虜となつたジャンヌの身
柄をイギリスは渡すよう要求ついに身
代金と引き換えにジャンヌは英軍に売
り渡されてしまいます。このことをシャ
ルル七世側の大司教は「乙女ことジャン
ヌはおごり高ぶり贅沢な衣服を身に付
け、神が命じられた仕事を行わず、勝
手な振る舞いを見せた。故に神は彼女
が敵手に落ちることを耐え忍ばれたの
である」。シャルル七世戴冠と宮廷に関
わる者たちの地位が確立されたこの期
に及んでは、ジャンヌの存在は煙たいだ
け、敵が抹殺することは願つてもいいこ
とであった。

神の声を教会を素通りして個人が聞
くことは許しがたい、まさにカトリック
教会から異端者とされたジャンヌは
ルーアンの英軍牢獄に入り異端裁判に
かけられ、敵国英國王によって任命され
た仏僧侶によって裁かれる。改悛したた
め一旦は死を免れます、が、権力はそれを
許さない。火刑にいたる経緯はむごいと
しか言いようがありません。1431年
5月30日の朝、乙女は紅蓮の炎に包
まれてこの世を去ります。(おわり)



私の本棚

〔ジャンヌ・ダルク
(村松剛著/中央公論社) その4〕

ランスの戴冠式 シャルル七世の誕生
はジャンヌの勝利であったが、同時に滅
びゆく前兆でもあった。ジャンヌは貴族
に叙され、王家と同じ百合の紋章を許
された。大金も渡された。百姓の娘に富
と栄誉が与えられたのである。古い貴
族たちは冷たい目で見ていたことでしょう。「私は何もこわいとは思いません。
こわいのは裏切りなのです」

〔ジャンヌ・ダルク
(村松剛著/中央公論社) その4〕